



「自由を生き抜く実践知」で未来を拓く DEIの推進とグローバル大学の実現を通じ、 社会課題の解決に挑む人材を育成



Diana Khor(ダイアナ・コー)総長
1983年香港大学社会科学卒業。94年スタンフォード大学大学院社会学研究科博士課程修了(Ph.D.)。専攻は社会学、ジェンダー・セクシュアリティ。25年より現職。

SUMMARY

1880(明治13)年、3人の若き法律家によって創設された「東京法学社」を前身とする、日本最古級の私立法律専門学校である法政大学。日本で初めてキャリアデザイン学部を設置し、また私立大学として初めて社会学部を開設するなど、「自由と進歩」の精神のもと改革を重ねてきました。現在は15学部38学科を擁する国内有数の総合大学へと発展しています。

2025年4月には、外国籍として初めて、女性としては2人目となるダイアナ・コー総長が就任。創立150周年を迎える2030年のさらにその先を見据えたキャンパスグランドデザインを公表。グローバル化とダイバーシティを一層推進し、「自由を生き抜く実践知」を世界に広げる挑戦を続けていきます。

01 150周年の節目に向け 新たな構想を展開

学150周年を迎える法政大学は、2030年以降も教育・研究・社会貢献を継続的に展開するため、25年4月に「キャンパスグランドデザイン」を策定・公表しました。大学進学者数がおおむね予測可能な2040年代半ばまでを見据え、その基盤構想を定めています。現代の教育環境を取り巻く多様な課題に対応するため、法政大学憲章「自由を生き抜く実践知」を体现できるキャンパスを目指し、具体的な施設整備方針を示したもので、「教育研究環境基盤構想」と「施設整備・更新計画」の二部構成になっています。法政大学は、建学の精神である「自由と進歩」と、それを現代に表現した「自由を生き抜く実践知」の下、多くの改革を実行してきました。2016年に法政大学ダイバーシティ宣言を発表し、2024年にはダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンセンター(DEIセンター)を設置するなど、多様性の推進に積極的に取り組んでいます。グローバル化やダイバーシティをさらに加速させるとともに、それらと密接に関連するSDGsの活動を進め、より包摂的な大学へと進化することを目指します。多様な背景やルーツを持つ学生が安心して学べる環境づくりを使命として取り組んでいます。法政大学は、2014年に文部科学省のスーパーグローバル大学創成支援事業(SGU)に採択され、グローバル化への取り組みを着実に進めてきました。「法政大学」としてのグローバル化とは、学生のグローバルマインドセットを育むことです。本学ではこれまで、留学生の受け入れや日本人学生の派遣、教職員の多様化、グローバルに

03 多彩な学問領域にわたり 先端的研究と人材を輩出

広い分野にわたる附属研究所を有し、多くの研究成果を上げるとともに、その研究の質が高く評価されている法政大学。法科大学院の高須順一教授が最高裁判所判事に任命され、25年3月末に就任するという慶事もありました。特筆すべきは理系分野の充実です。理系学部でも多くの学生が学んでおり、AIをはじめとする高度情報分野や生命科学、精密テクノロジ分野などで優れた人材を数多く輩出しています。25年4月には、植物医科学センターを発展させて植物医科学研究センターに改称し、大学の附置研究所として新たに設置しました。

また、最近ではQRコードを発明した原昌宏氏が学士院賞を受賞し、法政大学からも名誉博士号を授与されました。さらに、副学長の澤柿教授(専門・氷河地質学)はこれまでに4回南極地域観測隊に参加し、私立大学教員として初めて越冬隊長を務めるなど、先端研究の現場で活躍しています。

04 将来の自分を見据えた きめ細かいキャリア支援

学生生活は、将来の礎を築く大切な時間です。法政大学では「将来の自分」を見据えたキャリア形成を支えるため、きめ細かいサポートを用意しています。例えば、1年次から受講できるキャリア形成関連科目や各種プログラムをはじめ、経験豊富な専門スタッフによる対面・オンライン選択式の個別相談、インターンシップ体験会、学内企業説明会、卒業生による就職支援など、多様なサポート体制を整えています。

躍できる語学力の習得、学生の国際的な活動への参加などを推進してきました。法政大学憲章や本学のミッション・ビジョンで伝えている「社会の課題解決につながる実践知」や「持続可能な地球社会の構築に貢献する」という理念は、まさにグローバルマインドセットの涵養につながるものです。(コー総長)

02 全学横断の多様な学びと 充実のグローバル教育

法政大学は、法学部や経済学部、文学部といった伝統的な学部に加え、キャリアデザイン学部や生命科学部、GIS(グローバル教養学部)、スポーツ健康学部など、先端的な学部を開設してきました。複雑化・高度化する社会課題の解決に際する全学共通教育プラットフォーム科目は、社会連携教育科目、キャリア教育科目、データサイエンス科目の3領域と海外フィールドスクールで構成されています。他学部公開科目では、多くの学部が専門教育科目の一部を公開しており、740科目にのびります。成績優秀者を対象とした他学部科目履修制度も整えています。

さらに、法政大学ならではのユニークな取り組みがサティファイクトプログラムです。所属学部・学科のカリキュラムだけでは得られない他分野の知識を、体系的に学ぶことができます。グローバル教育も充実しており、英語で開講される科目は820科目にのびり、多彩な語学研修や留学制度に加え、国際ボランティアや国際インターンシップの機会も提供しています。「語学力だけでなく、国や民族の境界や垣根を超えて相互理解を深めることで、地球規模の問題解決力を養います。留学をしなくても、キャンパス内に設置されたGラウンジで留学生と日本人学生が交流できます」(コー総長)

公務員講座や会計専門職講座、法職講座など、職種ごとの特別講座も充実しており、2026年4月時点で就職希望者の決定率は97.9%を誇っています。

05 法政コミュニティを 一緒に築いていこう

2万9000人の学生が市ヶ谷・多摩・小金井の3キャンパスで充実したキャンパスライフを送る法政大学。各種奨学金など充実の経済的支援に加え、人種・性別・宗教などあらゆる境界を越えて「だれ一人取り残さない」サポートを展開。学生が学生を支える「ピアネット」活動も法政大学ならではの特色です。

伝統ある野球をはじめ、アメリカンフットボール、サッカー、空手、ソフトテニス、ローイング、フェンシングなど幅広い競技で選手が活躍し、女子選手の活躍も顕著です。オリンピックや国際大会でも実績を重ね、「スポーツの法政」の名を広く知らしめています。施設面でも、全館合わせて171万冊の蔵書を誇る図書館や、4つの専用寮など、学びを支える環境が整っています。

コー総長は「法政大学らしさは、自由な発想や世間の常識にとらわれない姿勢、決まったキャリアパスに縛られないことにあります。まさに校歌で歌われている『進取の気象』です。こうした土壌で育った卒業生は、あらゆる分野で活躍しています。皆さんも在学中にぜひ法政らしさを発揮し、自分が置かれた環境の中で一歩前に踏み出してください。大学は新たなスタート地点です。法政大学は、あなたの挑戦を教職員一同が全力でサポートします。一緒に法政コミュニティを一段と活気づけ、盛り上げていきましょう」と、受験生に向けてエールを送っています。

法政大学

〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1
入学センター TEL 03-3264-9300
<https://nyushi.hosei.ac.jp/>

入試情報サイト



大学HP



PICK UP DEIセンターと特色ある3つのキャンパス

(1) ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンセンター(DEIセンター)

法政大学は2016年度のダイバーシティ宣言以来、多様性を尊重する取り組みを推進。DEIセンターを中心に、性別や性自認、性的指向に関する個別相談に対応しているほか、男女共同参画の推進など、幅広い支援にも取り組んでいる。



DEIセンター



市ヶ谷キャンパス

(2) ピアネット

法政大学では、学生の視点を活かして、学生同士が支え合う「ピア(Peer:仲間)サポート」活動を積極的に展開してきた。それを発展させ、学生が主体的に学生を支援する組織として設立されたのが「ピアネット」である。学生スタッフが自主的に運営し、課外教養プログラムやボランティアセンターでの活動など、多彩な取り組みを行っている。



小金井キャンパス



多摩キャンパス